

# 平成5年度 和歌山県名匠

## 【おけ 桶 せい 製 さく 作】

## たま 玉 き 置 も 茂 いち 市

【現住所】粉河町(現:紀の川市)

【生 年】明治45年

### 業績及び経歴

明治45年日高郡美山村(現:日高川町)で生まれ、おじである山田辰之助氏に弟子入りし、今日まで65年間、伝統技術を守るという一途な心で研鑽を重ね、この道に精進している。

氏は、桶の素材である杉及び竹の選定から、製品の完成まで一貫して一人で行っている。製作した桶には自ら励み、自ら努力されて磨かれた技術と、桶製作一筋にかけた情熱に裏付けされた手づくりのあたたかい風格がにじみ出ている。

桶の周囲の一枚一枚の板を「くれ樽」といい、「くれなた」で割り刃物で荒けずりをする。その後、「かた(定規)」にあわせて、正確な円を作る。この工程には、特に高度な技術を必要とし、氏が独自に考案した道具を使い、永年つちかわれた技術を駆使し製作する。そして、竹を割ってつくった輪である「たが」をはめこみ、最後に竹釘で接合しコンパスで円を描いて型をとった底板を斜にして、つち槌で根気よくはめる。

完成品は、高野山をはじめ多方面からの信頼を得ており、製品としては、酒樽、味噌樽、菓子桶などがある。